

**報道関係各位**

## 崇城大学IoT・AIセンターが最先端センシングテクノロジーなどを活用した 地域DX推進のためのパートナー事業を開始

・ソニーセミコンダクタソリューションズ、ヘッドウォータース、FastLabelと共同で実証実験を開始・

### 【崇城大学IoT・AIセンターのこれまでの取り組み】

崇城大学IoT・AIセンター（センター長：星合 隆成 情報学部教授）は、地域DX・地域イノベーションの創発に向けて、これまで以下の取り組みを推進。

- ① ナビゲーションスタジオ、メタ空間スタジオ、eスポーツスタジオ、XRスタジオ、プレゼンテーションスタジオ、放送スタジオなどの最先端スタジオをデザイン・開発。本学学生・小中高生や市民への開放、仮想空間コンテストの実施などにより、九州におけるDX拠点（DXハブ）としての役割を担う。最近の1.5年間で、約65件（500人）の見学・視察を受け入れた。  
<https://www.cis.sojo-u.ac.jp/index.php/iot-ai-center.html>
- ② IoT・AIセンターが発起人となり、熊本から全国に向けたDX推進を目的とした「DX from KUMAMOTO」を設立。2022年7月「DXシンポジウム2022」を約600名の参加者を得て開催。これらの取り組みが評価され、総務省九州総合通信局長賞を受賞。  
<https://www.dxfk.jp/>
- ③ 20以上の包括連携協定の締結により、産官学連携を推進。多くのDX人材を育成するとともに、DX創発・Web3.0の理論として注目されている「SCB理論」の普及に貢献。また、全国20以上の自治体・行政からの依頼による自治体のDX推進、講演、職員研修などを実施。  
<https://scblab.jp/>

### 【崇城大学IoT・AIセンターが3社と共同で推進するパートナー事業】

崇城大学IoT・AIセンター、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社（以下、SSS）、株式会社ヘッドウォータース、FastLabel株式会社の4社は、SSSの最先端センシングテクノロジーを活用した熊本の地域DX推進に向けたパートナー事業と、そのための共同実証実験をスタートさせます。

崇城大学IoT・AIセンターは、熊本のDXの先進性・先導性やプレゼンス向上をめざし、DX人材の育成事業、DXハブの構築事業、地域DXのサービス開発事業に取り組んでまいります。

## 崇城大学IoT・AIセンターが最先端センシングテクノロジーなどを活用した 地域DX推進のためのパートナー事業を開始

・ソニーセミコンダクタソリューションズ、ヘッドウォータース、FastLabelと共同で実証実験を開始・

### パートナー事業の内容

- 最先端テクノロジーを活用したDX人材の育成事業
  - ・崇城大学情報学部の教育カリキュラムとして導入
  - ・課題解決型アクティブラーニングとのコラボ
  - ・利活用アイデアソン・コンテストの開催
- 最先端テクノロジーを活用したDXハブの構築事業
  - ・最先端テクノロジーを体験できるショールームを開設
  - ・小中高生の学びの場を提供・産官学協同の場を構築
- 最先端テクノロジーを活用した地域DXの開発事業
  - ・地域DX・AIのためのサービスシステムの共同開発  
 人検知PoC、リアルメタパースの構築  
 （今後の検討状況に応じ変更あり）
  - ・デジタルツインの推進
  - ・熊本市スマートシティー構想、DXfkへの貢献
  - ・サービスシステムを用いた地域DX(ハブ間連携)の実証実験



崇城大学IoT・AIセンター長  
情報学部教授 星合隆成  
hoshiai@cis.sojo-u.ac.jp  
<https://p2p-scb.net/>